自主創造

チャレンジする2学期に

2021年10月12日
第６号
校長　根路銘　敢

学校教育目標

自ら学び、心豊かにたくましく国際社会を生きる生徒の育成
～頭・心・体を鍛える～

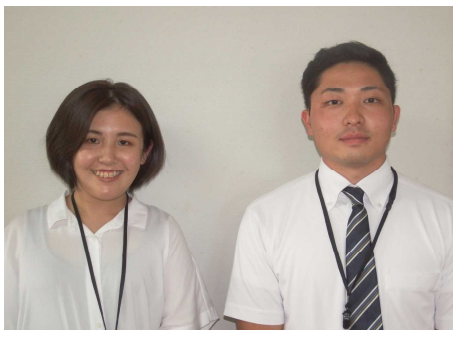
朝夕が過ごしやすくなった季節になり、学校での生徒の活動も少しずつ活発になってきています。

さて、去った９月17日の全体朝会で副校長講話がありましたので、紹介いたします。

コロナ禍の中、２学期がスタートし、３週間が過ぎようとしています。生徒のみなさん、去った夏休みはどのように過ごしましたか？私は、国の大きなスポーツの祭典として行われた東京オリンピック・パラリンピックや甲子園球場で行われた高校野球・女子野球など、テレビや新聞報道でさまざまな感動シーンから、自分自身も勇気と元気をもらいました。さて、私は今年度４月から副校長として真志喜中学校にお世話になっています。個人的なことですが、５年ぶりに学校現場に勤めることになりました。５年前までは、体育教師として生徒のみんなと授業や部活動で共に汗を流していました。真志喜中学校では、就任式に生徒のみなさんが充実した学校生活を送れるように陰ながら支えていきたいとあいさつしました。そこで、今日はこれまでの振り返りとして、みなさんの良さや頑張りを紹介したいと思います。私は毎朝、スクールサポーターの金城さんと正門前の横断歩道で、安全指導を行っています。マスク着用で顔の表情もあまりわからないのですが、ほとんどの生徒が元気よく「おはようございます」とあいさつを交わしてくれます。また、小学生や保護者、地域の方もあいさつや手を振ってくれる方もいて、気持ちよい１日がスタートしています。それから、４月からのみなさんの学校生活の様子を見ていると、普段の授業に取り組む姿勢の良さや休み時間も通りすがりにあいさつをしてくれ、当番活動においても、一人でも暑い中、分担区を黙々と清掃する姿や玄関の靴箱を隅々まできれいにしている姿を見ると、まさに、「時を清め」、「礼を正す」ということが、実践されている真志喜中学校だと思います。学級活動では、毎日のグッジュブさんの紹介や担任の先生が発行してくれる学級便り等で、みなさんの頑張りがよく見えます。部活動では、３年生が中心となって県大会・九州大会・全国大会出場など、素晴らしい活躍がありました。各種検定にもたくさんのみなさんがチャレンジし、英検準１級合格者も２年連続で出ています。最後に、現在、学校行事等が制限される中で、「何もできない」ではなく、ポジティブに知恵を出し合って、生徒会役員を中心にした「チーム真志喜」の自治活動を期待したいと思います。何事にもチャレンジしてください。生徒の笑顔が真志喜の太陽！生徒のみなさん、先生方、お互い協力し、これからも頑張りましょう。

教育実習終了

９月に本校卒業生の平良有弥菜さん（沖縄国際大学）と湧田琉也さん（環太平洋大学）が英語の教育実習生として来校しました。二人からのメッセージを紹介します。平良有弥菜さんからは、「真志喜中学校の生徒は、とても明るい子が多く、活発でとても楽しい３週間を送ることができました。生徒のみなさんが、これからも元気いっぱい楽しい学校生活を送れることを願っています。」また、湧田琉也さんからは、「生徒の笑顔のおかげで元気をいっぱいもらいました。とても楽しく有意義な時間をありがとうございました。生徒のみなさん、自分の目標に向かって頑張ってください。」



今後の予定

県内の緊急事態宣言が解除され、部活動も再開し、学級活動もスポーツや校内美化活動、学級間交流等、工夫した取り組みが行われています。
今後の主な行事をお知らせします。

◇10月16日（土）
　数学検定
◇10月23日（土）
　中頭地区駅伝
◇10月28日（木）
　期末テスト

【保体・技家】

テニスボールの寄贈

１０月４日（月）宜野湾市テニス協会より、本校男女テニス部へテニスボール（３６０個）の寄贈がありました。協会を代表して、濱元さんと本校コーチの桃原さんが、来校して届けてくださいました。お二人からは、「今後も一生懸命頑張ってください」と激励をいただきました。男子キャプテンの古謝大翔さんは、「このボールを使って、練習に励み大会で良い成績を残したい」女子キャプテンの友利結菜さんは、「たくさん練習して大会で成果を出せるようにチーム一丸で頑張ります」とお礼と抱負がありました。顧問の比嘉秀二先生・谷本昭道先生からも、地域の方々への感謝と県大会出場を目指す言葉がありました。（写真：左は濱元さん、右は桃原さん）